【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第４部門第１区分
【発行日】平成17年7月21日(2005.7.21)

【公開番号】特開2001-132055(P2001-132055A)
【公開日】平成13年5月15日(2001.5.15)
【出願番号】特願平11-311677
【国際特許分類第７版】
　Ｅ０３Ｄ　9/08
【ＦＩ】
　Ｅ０３Ｄ　9/08　　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成16年11月26日(2004.11.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
洗浄水を噴出する吐水穴を有し、待機位置と使用位置との間で移動可能な洗浄ノズルと、待機位置にある前記洗浄ノズルを収納するケーシングとを備えてなる人体局部洗浄装置において、
前記洗浄ノズルは、ノズル本体と、このノズル本体の外周を覆う筒状のノズルカバーを有することを特徴とする人体局部洗浄装置。
【請求項２】
前記ノズルカバーは、使用位置にある前記ノズル本体のケーシング外に位置する部分を全て覆っており、
前記吐水穴は、前記ノズル本体に形成された第１の吐水穴と、前記ノズルカバーに形成された第２の吐水穴を重ね合せて構成されることを特徴とする請求項１記載の人体局部洗浄装置。
【請求項３】
前記ノズル本体は、複数部材の継ぎ目部分を有しており、
前記ノズルカバーは、この継ぎ目部分を覆っていることを特徴とする請求項１または２記載の人体局部洗浄装置。
【請求項４】
請求項１～３の何れか記載の人体局部洗浄装置において、前記ノズルカバーがノズル本体に対して着脱可能であることを特徴とする人体局部洗浄装置。
【請求項５】
請求項１～４の何れか記載の人体局部洗浄装置において、前記ノズルカバーの一部または全体が金属であることを特徴とする人体局部洗浄装置。
【請求項６】
請求項１～４の何れか記載の人体局部洗浄装置において、前記ノズルカバーの一部または全体が樹脂であることを特徴とする人体局部洗浄装置。
【請求項７】
請求項６記載の人体局部洗浄装置において、前記ノズルカバーの一部または全体の材質がポリプロピレン樹脂であることを特徴とする人体局部洗浄装置。
【請求項８】
請求項６記載の人体局部洗浄装置において、前記ノズルカバーの一部または全体の材質

がＡＢＳ樹脂であることを特徴とする人体局部洗浄装置。
【請求項９】
請求項１～８の何れか記載の人体局部洗浄装置において、前記ノズルカバーの外表面の表面自由エネルギーが４０ｄｙｎｅ／ｃｍ以下であることを特徴とする人体局部洗浄装置。
【請求項１０】
請求項９記載の人体局部洗浄装置において、前記ノズルカバーの外表面に表面自由エネルギーが４０ｄｙｎｅ／ｃｍ以下の低表面エネルギー層を有することを特徴とする人体局部洗浄装置。
【請求項１１】
請求項１０記載の人体局部洗浄装置において、前記低表面エネルギー層が塗装膜であることを特徴とする人体局部洗浄装置。
【請求項１２】
請求項１０記載の人体局部洗浄装置において、前記低表面エネルギー層が樹脂フィルムであることを特徴とする人体局部洗浄装置。
【請求項１３】
請求項１０記載の人体局部洗浄装置において、前記低表面エネルギー層がポリプロピレン樹脂フィルムであることを特徴とする人体局部洗浄装置。
【請求項１４】
請求項１２または１３記載の人体局部洗浄装置において、前記樹脂フィルムが、前記ノズルカバーの外表面にインサート成形されていることを特徴とする人体局部洗浄装置。
【請求項１５】
請求項９～１４の何れか記載の人体局部洗浄装置において、前記ノズルカバーの外表面若しくは前記低表面エネルギー層がシリコーン樹脂を含有することを特徴とする人体局部洗浄装置。
【請求項１６】
請求項９～１５の何れか記載の人体局部洗浄装置において、前記ノズルカバーの外表面若しくは前記低表面エネルギー層がフッ素樹脂を含有することを特徴とする人体局部洗浄装置。
【請求項１７】
請求項１～１６の何れか記載の人体局部洗浄装置において、前記ノズルカバーの外表面若しくは低表面エネルギー層に抗菌剤を含有することを特徴とする人体局部洗浄装置。
【請求項１８】
洗浄水を噴出する吐水穴を有し、待機位置と使用位置との間で移動可能な洗浄ノズルと、待機位置にある前記洗浄ノズルを収納するケーシングとを備えてなる人体局部洗浄装置において、
使用位置にある前記洗浄ノズルの前記ケーシング外に位置する部分は、前記吐水穴を除く全ての外表面が一体的に形成されていることを特徴とする人体局部洗浄装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
請求項４の発明では、請求項１～３の発明に加えノズルカバーをノズル本体に対して着脱可能にしたことを特徴とするので、万一、汚物が付着したとしても取り替えが簡便にできる。また、賃貸住宅等では、新しく入居する際、新しいノズルカバーに取り替えることもできる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
請求項１３の発明では、請求項１０記載の発明に加え、低表面エネルギー層がポリプロピレン樹脂フィルムであることに特徴とするので、撥水、撥油性が高く汚物が付着しにくい。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
また、樹脂フィルムを、ノズルカバーの外表面に接着すれば、樹脂フィルムがはがれる心配がなく長時間防汚性能を保つことができる。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
請求項１４の発明では、請求項１２または１３記載の発明に加え、樹脂フィルムが、ノズルカバーの外表面にインサート成形されたことに特徴とするのでノズルカバーと樹脂フィルムが成形時の熱で接触部が溶け合い非常に強固な接着力を得ることができる。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
請求項１５の発明では、請求項９～１４記載の発明に加え、ノズルカバーの外表面若しくは低表面エネルギー層がシリコーン樹脂を含有することを特徴とするので、外表面の撥水性が向上し汚物の付着を少なくすることができる。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２２】
請求項１６の発明では、請求項９～１５の何れか記載の発明に加え、ノズルカバーの外表面若しくは低表面エネルギー層がフッ素樹脂を含有することを特徴とするので請求項１７同様、外表面の撥水性が向上し汚物の付着を少なくすることができる。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２３】
請求項１７の発明では、請求項１～１６の何れか記載の発明に加え、ノズルカバーの外表面若しくは低表面エネルギー層に抗菌剤を含有することを特徴とするので外表面に付着

したかび、菌類等の繁殖を抑えることができる。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２６】
請求項１８の発明では、洗浄水を噴出する吐水穴を有し、待機位置と使用位置との間で移動可能な洗浄ノズルと、待機位置にある洗浄ノズルを収納するケーシングとを備えてなる人体局部洗浄装置において、使用位置にある洗浄ノズルのケーシング外に位置する部分は、吐水穴を除く全ての外表面が一体的に形成されていることを特徴とする。